

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課	所属長名	八木澤 進	電 話	483-1151 内線2450
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4127		事務事業名称	基幹情報システム検証事業					短縮コード	経常		臨時	4127
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	情報管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市電子計算組織管理運営規程						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
現在稼働している基幹情報システム（「汎用機システム」，「住民情報オンラインシステム」，「住民情報バッチシステム」，「基幹系クライアントサーバシステム」）のサービス効果や費用効果について，外部専門家（ITコーディネーター）を含めた全庁的な体制により，新たな住民サービスを提供するための業務プロセスに基づいた視点で検証し，本市情報システムの構築プランを策定する。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために					
①現在のシステム間の連携等が複雑化してきており，基幹情報システム全体として評価・見直しが必要な時にきている。 ②国の施策（i-Japan戦略2015、新電子自治体推進指針）やICT技術動向（ダウンサウジング、ASP・SaaS等），業務改革の必要性の高まり（BPR、全体最適化）等，地方自治体を取り巻く外部環境が変化してきており，より一層効果的な電子自治体の実現が求められている。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
						中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立					
						小項目（施策）	01	効率的な行政運営の確立					
						細 項 目	04	電子自治体の推進					
					実施計画の計画事業	6108	基幹情報システム検証事業						
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	基幹情報システム業務主管部署・利用部署								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 庁内に検討会議を設置し，基幹情報システムの全体最適化方針，再構築の方向性等について検討を行った。								
	※平成22年度に計画していること： 基幹情報システムの再構築の計画を策定する。								
意図 （何を狙っているのか）	現在の基幹情報システムの見直しをすることにより，将来的な基幹情報システムのあり方やその構築プランを策定する。								
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外								
区 分					単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	基幹情報システム検証対象業務主管部署・利用部署	課	10	10	10	10		
	指標 2								
	指標 3								
活動指標	指標 1	基幹情報システムの検証を行った課の数	課	10	10	10	10		
	指標 2								
	指標 3								
成果指標	指標 1	検証を行った課の数/検証対象業務主管部署・利用部署	%	100	100	100	100		
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード	4127	事務事業名称	基幹情報システム検証事業				所属名	情報管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			会議（基幹情報システム全体最適化検討会議，電子自治体推進本部）で検討を行い，今年度（平成22年度）計画を策定する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			基幹情報システムの見直しを行うことにより，成果の向上が図られる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・一つの窓口で関係するすべての手続きができるワンストップサービスを実施してほしいという要望や市民窓口を担当する各課の事業でオンライン処理終了の17時以降も延長してほしいという要望がある。また，市民の要請により，業務処理依頼書の提出後に急遽処理の必要が生じる場合があるので，柔軟な対応が求められている。	

所属長コメント	基幹情報システムの問題点は多様であり，かつ相互に関連している。そのため，個別的な改善を図るのではなく，将来に向けて全庁的に業務執行の有用性・効率性を確立し，真の改善効果が得られるような方法で問題点を解決していくことが必要がある。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		